

第2回豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会会議録要旨

- 1 開催日時 平成23年11月29日(火) 午後1時30分～午後2時30分
- 2 開催場所 豊橋市役所西館 第3委員会室
- 3 出席者 委員 鹿取健司、
上田裕(代理出席:黒谷厚志 愛知県教育委員会特別支援教育課主幹)、
恩田やす恵(代理出席:鈴木泰公 愛知県立豊川養護学校教頭)、
鈴木清貴、山本五夫、白井英俊、
花井君枝(代理出席:小久保悦子 手をつなぐ育成会副会長)、
黒柳哲禎、舎人登志雄、村田勇一郎、荒木登喜子、
村松伸郎(代理出席:平井敏久 豊橋市立津田小学校教頭)、
増田隆雄、戸田守彦 ※敬称略
- その他 黒沢正行(愛知県教育委員会特別支援教育課長補佐) ※敬称略
- 事務局 加藤喜康(教育政策課長)、村田敬三(教育政策課主幹)、
柴田祥宏(教育政策課指導主事)、守田雅一(学校教育課指導主事)、
山本誠二(教育政策課主査)、峰野勝久・大橋史明(教育政策課)
- 欠席者 山寄博充 ※敬称略

4 議 事

(進行:事務局 教育政策課長)

第1回豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会からの経過報告

- (1) 第1回豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会(H23.10.25) 会議録要旨について説明
- (2) 野依校区地元説明会(H23.10.30)の報告
- (3) 「豊橋市立特別支援学校整備の基本的な考え方(案)」への委員からの意見への対応
「豊橋市立特別支援学校整備の基本的な考え方(案)」の前回からの修正点の説明
- (4) 豊橋市議会福祉教育委員会(H23.11.21)の報告

協議事項として「豊橋市立特別支援学校整備の基本的な考え方(案)」の意見交換

<委員>

施設づくりの面で、既存の施設を参考にするとあるが、スケジュールの中で、基本設計や実施設計の進捗状況はどうか。

<教育政策課長>

予定通り進んでいる。

<委員>

スケジュールの中に地元説明会を随時行うとあるが、市教委から通知されるのか、地元からの要請で開催するのか教えてほしい。地元としては、情報不足にならないようになるべく多く開催してほしいと考えている。

<教育政策課長>

適宜、実情に応じて開催していきたいと考えている。

<委員>

用地取得を行うとあるが、具体的にどのように考えているのか。

<教育政策課長>

敷地の南側の地権者との交渉を進めており、年度内には固めて報告をできればと考えている。

<委員>

自治会として委員になっているが、建設等の細かい内容に意見を言う権限はないと思っている。地元が知りたいことは、校区市民館がどこに移転するかなど、周辺の環境整備などがどうなるかである。

<教育政策課長>

どのような意見でも構わないので、いただければありがたい。

<委員>

高等部へ通学する生徒の区割りはどのように考えているのか。エリア等で分けるのか。

<教育政策課長>

よりよい方向になるように、今後協議していきたい。エリアで分けるという案もあるし、小学部・中学部に在籍していた児童生徒は優先して入学させるという案もある。いろいろなパターンを検討していきたい。

<委員>

みあい養護の場合も通学区域を設定した。尾張新設養護の場合は、一宮市をJR東海道線で通学区域を分ける予定であるが、東海道線を含む校区は、柔軟な対応を考えている。

<委員>

高等部について、入学者は、弾力的な運用ということだが、通学の距離を考えると田原市の子どもは受け入れざるを得ないと思う。豊橋市の子どもが入れなくなるような状況が発生しないかが心配である。

<教育政策課長>

そのことも含めて、今後しっかりと検討していきたい。

<委員>

豊橋養護学校には、渥美在住の知的障害を抱える子どもが寄宿舎に入所しているが、豊橋市立特別支援学校が開校したらどうなるのか。

<教育政策課長>

豊橋養護学校に知的障害を抱える一部の子が寄宿舎で生活している事は、承知している。豊橋市立特別支援学校には、寄宿舎を建設する予定はないので、そのような児童・生徒をどのようにするかは、まだ分からない。

<委員>

田原市の子どもたちは、中学校までは特別支援学級に在籍して、高等部から養護学校に入る子どもが多いので、豊橋市に特別支援学校ができるとありがたい。

<教育政策課長>

豊橋市だけでなく、近隣市とも協力をしながらよりよい学校を作っていきたい。

<委員>

新聞報道の中で気になっていたことだが、豊川養護学校の住所が間違っていると思うので、指摘しておいた方がよいと思う。

<委員>

その通りである。住所は、八幡町ではなくて、平尾町である。

<課長>

了解した。新聞社に伝えておきたい。

5 その他

次回会議日：3月に開催することとし、後日調整をすることとする。